

(様式1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県こどもみらい館 こども政策課

2 施設所在地
射水市黒河字高山4774番6

3 施設設置年度
平成4年度

4 設置目的
児童に健全な遊びの機会と場を提供して、その健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、地域の児童館その他の関係機関等との連携を図り、もって次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与する。

5 施設概要
鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階建て
建物面積 4,014.5㎡
(地下1階部分372.2㎡、1階部分2,285.4㎡、2階部分1,347.6㎡、エレベーター部分9.3㎡)

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
3年
令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
70,529	82,966	134,406	132,232	136,452

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R2	R3	R4	R5	R6
0	0	1	0	1

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R2	R3	R4	R5	R6
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大による休館期間があり、利用者数が減少した。令和4年度は休館期間がなかったこと、コロナによる自粛の緩和により、利用者数が増加したものと考えられる。令和6年度の来館者は昨年度に比べて4,000人増加した。令和6年度も真夏日が続き外出制限が出されたほか、雪の影響等、天気によって左右されながらも全体的に安定して利用いただいている。今後も事業、管理両面において、安心安全で、こどもから保護者まで多くの利用者が常に快適に活動できるような運営に努めていただきたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ① 魅力ある企画事業等の実施、遊びや集団活動の機会提供等の充実
- ② 県内児童館等の交流促進、情報提供、巡回活動や調査研究、指導者、ボランティアの育成など、地域の児童健全育成活動支援の充実
- ③ 施設の利用案内やイベント情報のホームページ掲載
- ④ 施設運営等の工夫改善
 - ・GW・夏休み・春休み期間中は休館日を設けず、連日開館
 - ・冬季期間における無料バスの運行

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、児童館をはじめとする関係施設機関など1,550箇所に「こどもみらい館通信」を配布するとともに、ホームページやSNSで最新のイベント等を紹介するなど情報の提供に努めている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・ 一般来館者・利用団体を対象に行事やプログラムに関する利用者アンケートを年2回実施している ・ 団体客の来館時には団体用アンケートを実施
回答者数	来館者調査 第1回(8/11～8/12)：QRコード回答数250件 第2回(11/3)：QRコード回答数213件 団体アンケート 回収67/配布104
結果	・ 利用者の約8割がリピーターとなっており、地域構成は約8割が富山県内、そのうち富山市、射水市、高岡市の3市で全体の8割以上を占めている。夏季休暇期間中は県外からの利用者が3割以上に達している。
結果を踏まえた改善事項	・ 利用率の低い小学校4年生以上の年代と、こどもの遊びや成長に関心のある一般の方々にもご来館いただけるような創意工夫が必要。こどもサロンやファミリーチャレンジ、ボランティア育成などでさらに工夫を重ね、その足掛かりとしていく。

②その他利用者の声を反映させる取組み

こどもみらい館運営委員会を開催し、学識経験者や関係団体の代表の方から意見を伺っている。

③主な苦情と対応

・飲食スペースに荷物を置いて、長時間席を空けているグループがいる。場所取りは禁止してほしい。→夏休みやお盆の時期には来館者が多く全員が席を確保できないことがある。長時間の席取に関しては、これまで以上にこまめに放送で注意を促す。また、テーブルを新設して、休憩場所の拡充を行った。

・館内が暑い。冷房の温度を低くしてほしい。→施設の老朽化により、冷房が最大限稼働しても来館者が暑いと感じていることがある。夏場においてはできる限り早く冷房を付けることとし、館内の換気を定期的に行うことで涼しい環境づくりに努める。

(5) 個人情報保護の取組み

職場ミーティング等随時、職員に周知や注意喚起を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

太閤山ランドとの連携によりイベント等を開催した。県内児童館などへのプレーバス巡回事業を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

大型遊具の定期点検をはじめ適切に管理されている。点検等において不具合のあった箇所は直ちに修繕が行われている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、危機管理マニュアルを作成し、職員に周知や注意喚起を図っている。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

・上水引込み管の破損により地下機械室の側壁部から室内に漏水が発生。→適時適切に県へ情報共有を行い、緊急修繕を実施した。

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・プレイホールでの週替わりプログラム、造形エリアでの月ごとにテーマを替えたプログラム、高学年を対象としたこどもサロンの運営などを行い、常に新しい発想で来館者の満足度向上に努めてきた。令和7年度以降も引き続き来館者の声を聴きつつ、利用者が快適に活動できるような取り組みを進めてもらいたい。
- ・開館から32年を超え、老朽化による設備更新や景観保持が指定管理費の中で対応することが困難となっており、県による対応が必要とされているところである。利用者が安心して快適に過ごせるよう修繕を進めていく必要がある。
- ・常に経費削減を念頭に業務内容の点検を継続するとともに、より一層、太閤山ランドとの連携を強化するなどの運営改善に努めていただきたい。